

気軽に読める暮らしのネタ

イノス INOS Monthly マンスリー



News Letter
2021.3 月
Vol.226

冬に起きやすい結露は家を傷める！効果的な対策方法は？

家の中と外との気温差が大きくなる冬。ふと気がつくと、窓の内側にビッシリ水滴がついて、窓枠やフローリングなどにもいつの間にかカビが……という経験はありませんか？こうした気温差によってできる「結露」を放置しておくと、不衛生なだけでなく、家と建材を傷めてしまいます。一年で最も寒くなる2月は、特に気をつけましょう。

結露はなぜ起きる？原因を知って対策しよう！

結露の原因は「温度差」と「湿気」です。空気中を漂う水分が、冷えた窓や壁に接して固体の水に戻ることによって起きます。この「温度差」と「湿気」を解消することが、「結露」対策の基本です。そのため、以下のような点に気をつけましょう。

- ・洗濯物はできるだけ室内に干さない
- ・カーテン、ブラインド、障子などは長時間閉めっぱなしにしない（定期的に分ける）
- ・料理、食事、入浴の際はよく換気する
- ・窓をペアガラス、二重窓、樹脂窓などの結露が起きにくい材質や構造にする

それでも結露は起きてしまうもの。そのため以下のような対策もしておきましょう。

1.窓に断熱シート、窓枠に断熱テープを貼る

熱が伝わる速度や奪われる速度を遅くして、結露を起きにくくしてくれます。

2.窓に結露防止（吸収）シートやテープを貼る

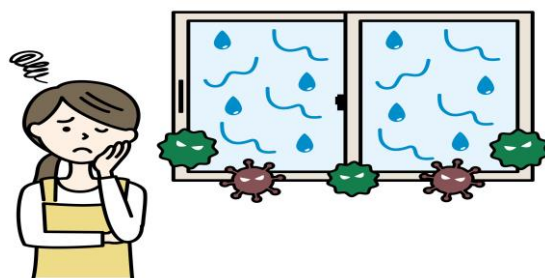
水分を吸収する材質でできていて、垂れ落ちた結露を吸収・蒸散させてくれます。接着剤いらずで、キレイに貼ったり剥がしたりできるので、とても便利です。

結露のデメリットとは？放置するとこんなに危険！

結露を放っておくと、家と人間にさまざまな悪影響があります。

- ・窓まわりやカーテン、建材などにカビが生える
- ・ダニや白アリの発生につながる
- ・悪臭の原因になる

結露対策は早め早めが肝心です。本格的な寒さの前に、毎年予防しておきましょう！



全国に広がる家づくりネットワーク

INOS

イノスグループ

株式会社 創建

☎0564-62-7700